

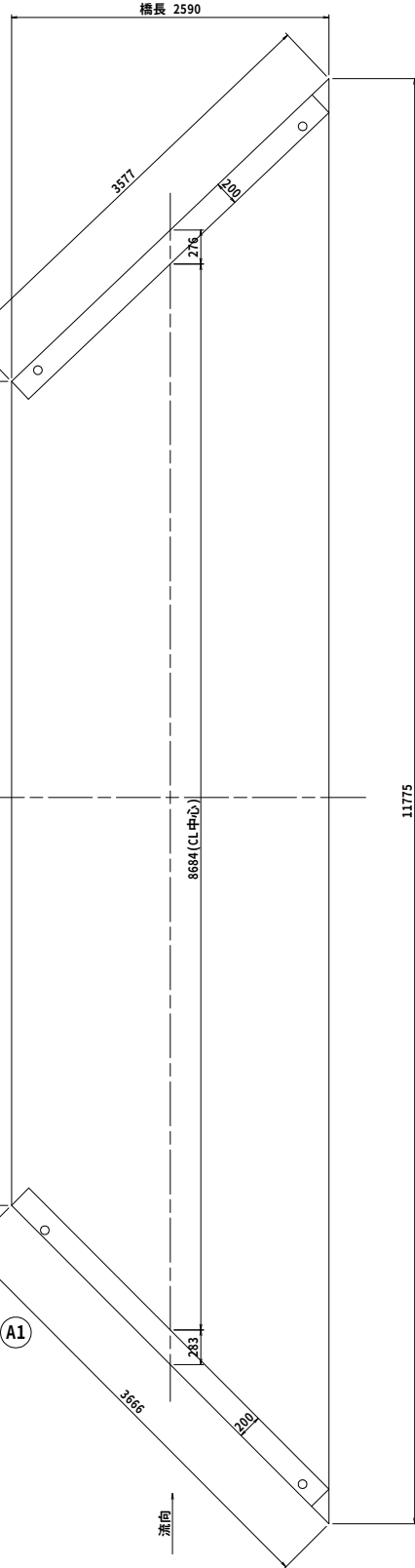
令和 7 年度 工 事 設 計 書				審 査	検 算	設 計
事業名	道路メンテナンス事業					
工事名	道保No.2-2 橋梁補修工事					
路線名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		施工場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
河川名			施工期間	～令和 8年 2月13日		
設計工事費	9,691,000 円		工事価格	8,810,000 円		
			消費税相当額	881,000 円		
工事概要						
中央2-101-大宮3 工事施工延長 L=2.59m(橋長L=2.59m、幅員W=9.20m) 断面修復工 N=1橋 表面保護工 A=13.0m2 中央2-287-大宮3-002 工事施工延長 L=2.50m(橋長L=2.50m、幅員W=7.90m) 断面修復工 N=1橋 表面保護工 A=10.0m2 中央2-307-文京2 工事施工延長 L=3.00m(橋長L=3.00m、幅員W=8.60m) 断面修復工 N=1橋 表面保護工 A=13.0m2 路側防護柵工 L= 4.2m						

事業費総括表		設計条件等	
費目	金額	設計条件	
工事価格	(8,810,000 円)	適用単価	令和 7年 8月 福井・坂井
(工事価格×請負率)	()	適用経費	令和 7年度 7月 国土交通省 土木工事
消費税相当額	(881,000 円)	適用歩掛	令和 7年度 8月
請負工事費	()	工 種	橋梁保全工事
設計工事費	(9,691,000 円)	施工地域・工事場所	市街地(DID補正)(1)
		現場環境改善	計上しない
		前払率	35%を超え40%以下
		契約保証	する
		積雪寒冷地域	なし
		週休2日の施工	完全週休2日(土日)
		緊急工事	通常
その他		予算実行	
建設業の種類	とび・土工・コンクリート	当初設計額	
建設リサイクル法	対象	当初請負額	
		今回精算見込額	

中央2-101-大宮3 補修一般図

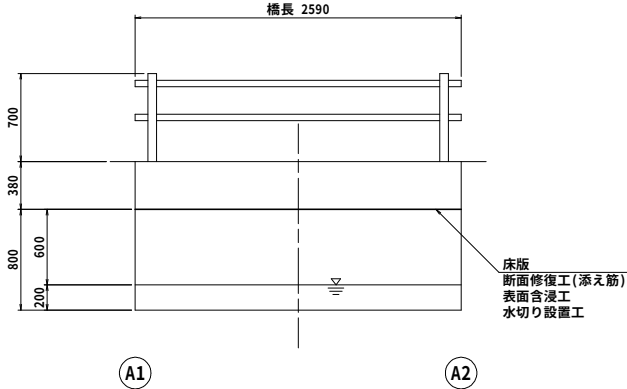
平面图

S=1:30



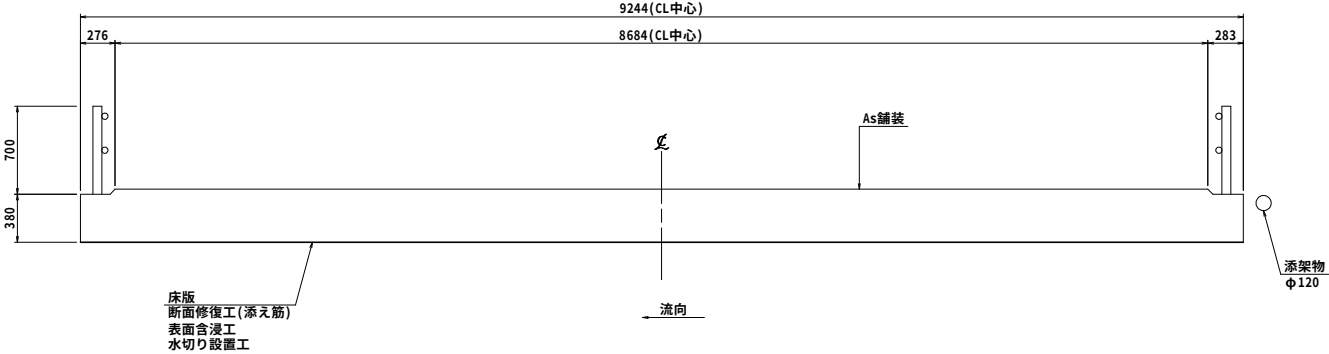
側面図

S=1:3



断面図

S=1:3



補修項目

補修工種	適用箇所
断面修復工(添え筋)	床版
表面保護工	床版
水切り設置工	床版

橋梁諸元

橋	長	2.59 m
幅	員	9.20 m
荷	重	不明
上部工形式	RC単純床版橋	
下部工形式	重力式橋台*2	
架橋年月	不明	
適用示方書	不明	
補強補修履歴	不明	

※橋梁諸元、断面寸法等は、既存資料、現地調査等による

工事概要

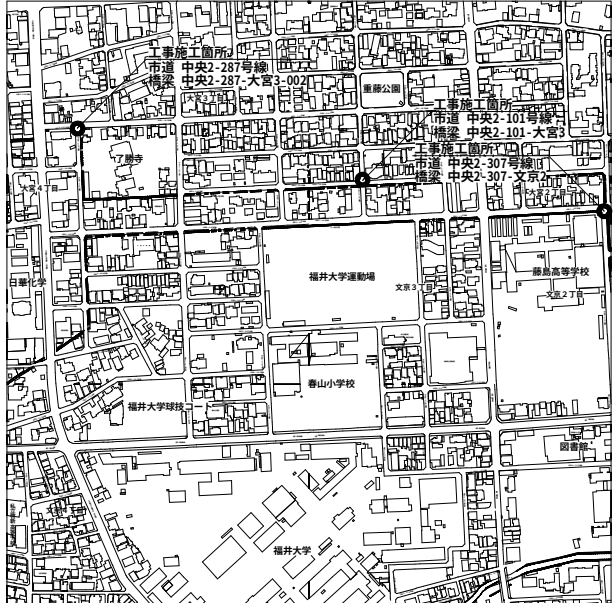
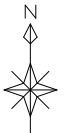
中央2-101-大宮3
 工事施工延長 L=2.59m (橋長L=2.59m、幅員W=9.20m)
 断面修復工 N=1橋
 表面保護工 V=13.0m²

中央2-287-大宮3-002
 工事施工延長 L=2.50m (橋長L=2.50m、幅員W=7.90m)
 断面修復工 V=1橋
 表面保護工 V=10.0m²

中央2-307-文京2
 工事施工延長 L=3.00m (橋長L=3.00m、幅員W=8.60m)
 断面修復工 V=1橋
 表面保護工 V=13.0m²
 路側防護柵工 L= 4.2m

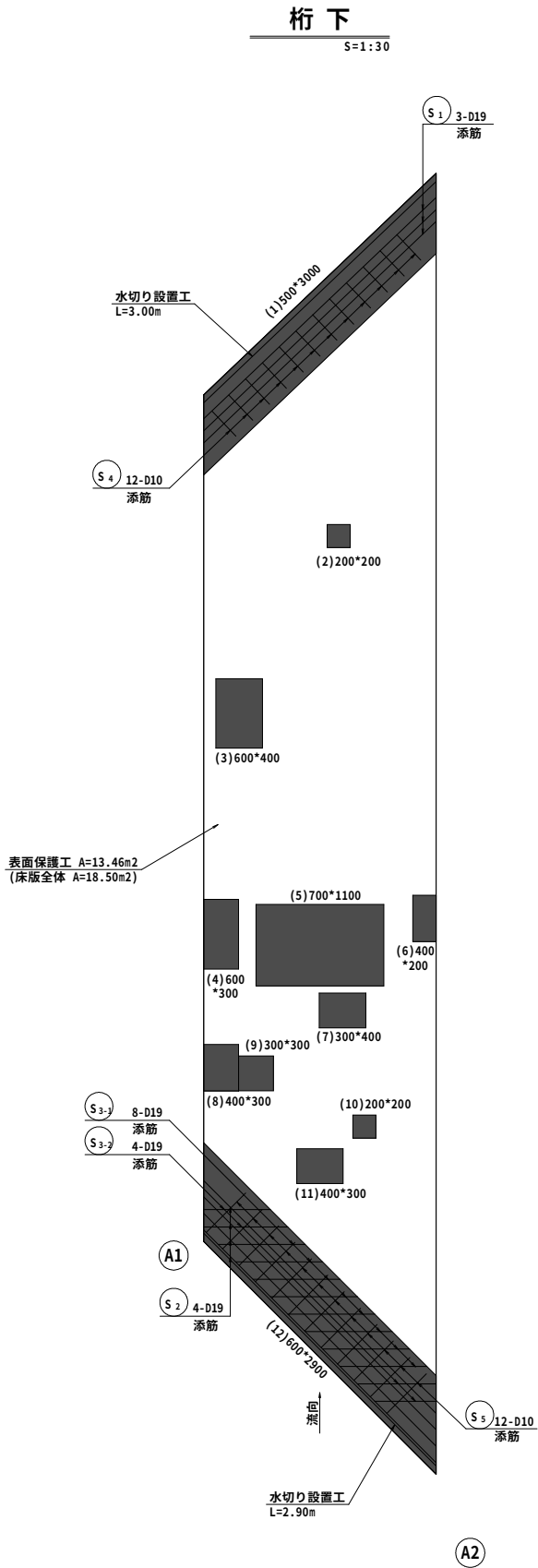
位置図

S=1:500

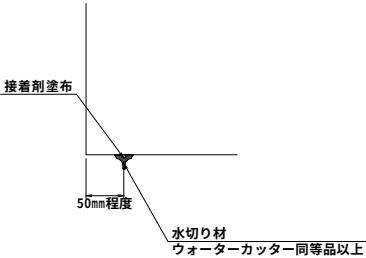


工 事 名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図 面 名	位置図・中央2-101-大宮3 補修一般図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮 尺	図示	図面番号	1 / 7
路 線 名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
会 社 名			
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-101-大宮3 コンクリート補修図

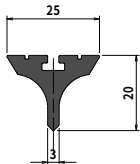


水切材設置図 S=1:5



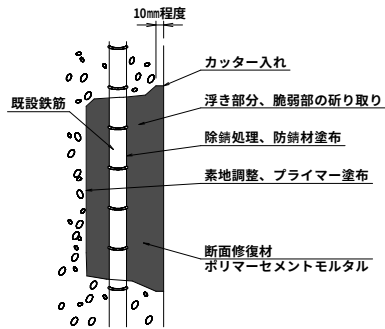
水切材詳細図 S=1:1

ウォーターカッター同等品以上
(EPDMゴムスポンジ)



断面修復工(参考)

左官工法

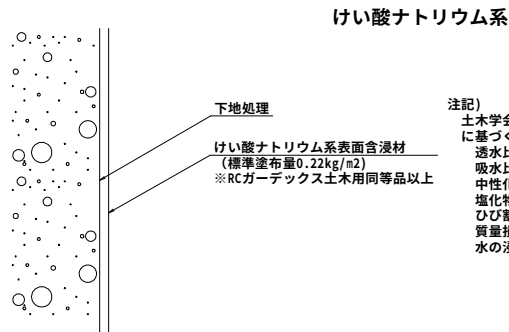


注記)
-補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
-断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
-断面修復の際は、鉄筋に防錆処理を施すこと。(鉄筋が露出している場合)
-はつり深さが大きく50mm程度以上の厚塗りとなる場合には、多層塗りとするを基本とする。
-かぶり厚が十分確保できない場合は、補修材を盛ること。
-断面修復箇所及び数量は、現地にて確認すること。
-補修箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
-付着強度1.5N/mm²以上

断面修復工数量一覧表

部 材	NO.	幅 (m)	長さ (m)	個数	面積 (m ²)	厚さ (m)
床版	1	0.500	3.000	1	1.500	0.050
	2	0.200	0.200	1	0.040	0.050
	3	0.600	0.400	1	0.240	0.050
	4	0.600	0.300	1	0.180	0.050
	5	0.700	1.100	1	0.770	0.050
	6	0.400	0.200	1	0.080	0.050
	7	0.300	0.400	1	0.120	0.050
	8	0.400	0.300	1	0.120	0.050
	9	0.300	0.300	1	0.090	0.050
	10	0.200	0.200	1	0.040	0.050
	11	0.400	0.300	1	0.120	0.050
	12	0.600	2.900	1	1.740	0.050
				小計	5.040	
合計					5.040	

表面含侵工詳細図(参考)



注記)
土木学会「けい酸塩系表面含浸材の試験方法(案) JSCE-K572」
に基づくRCガーデックス土木用の性能評価
透水比 77%
吸水比 86%
中性化深さ比 80%
塩化物イオン浸透深さ比 50%
ひび割れ透水比 1%
質量損失比 31%
水の浸透深さ比 58%

鉄筋質量表

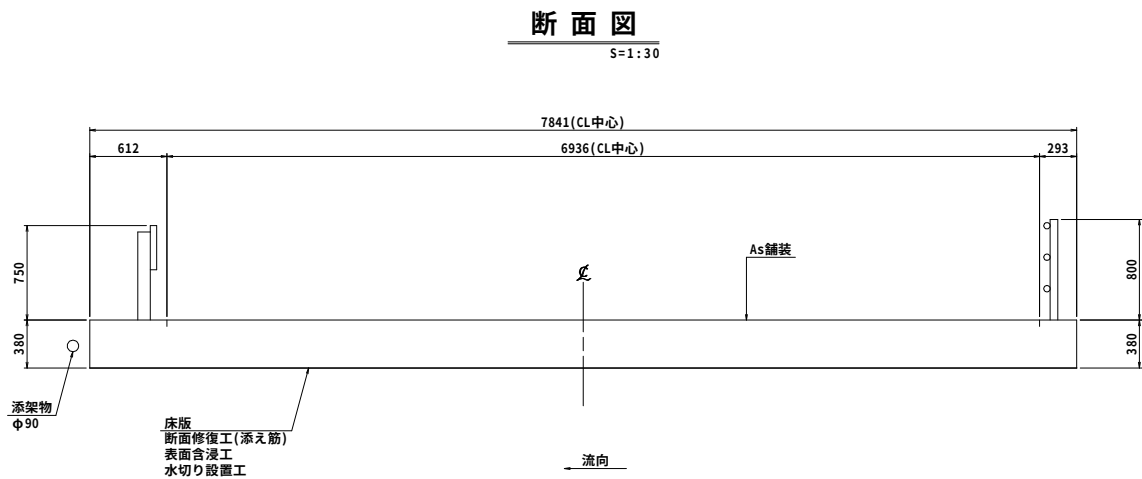
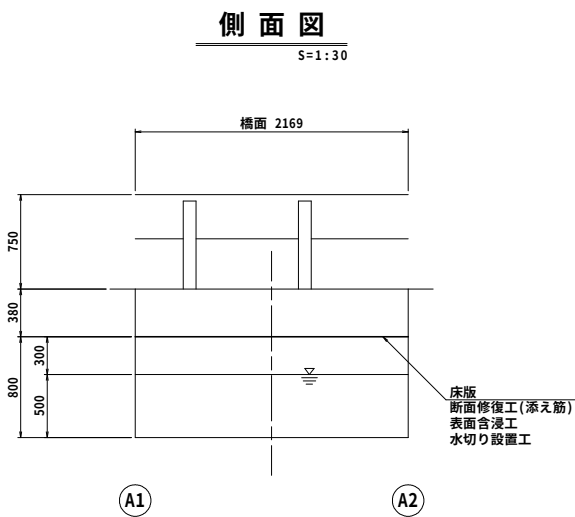
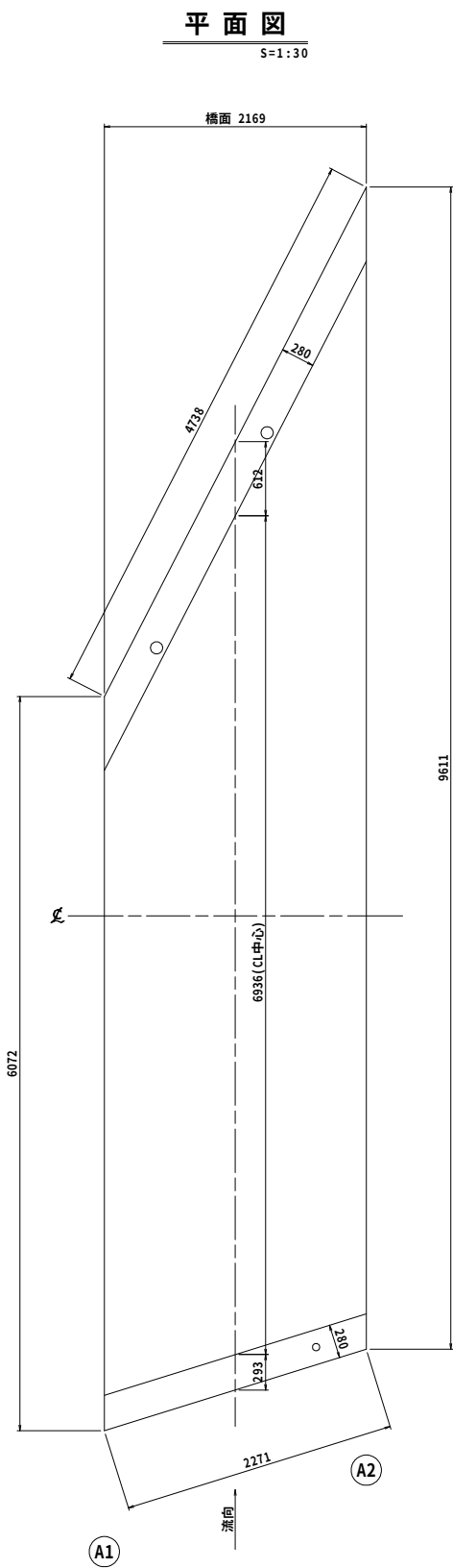
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	3000	3	2.25	6.75	20	――
S 2	D19	2900	4	2.25	6.53	26	――
S 3-1	D19	750	8	2.25	1.69	14	――
S 3-2	D19	630	4	2.25	1.42	6	―― (平均長)
S 4	D10	300	12	0.56	0.17	2	―― SD295
S 5	D10	480	12	0.56	0.27	4	―― SD295
合 計				D19	66 kg		
				D10	6 kg		
総質量					72 kg		

※特記なき鉄筋は全てSD345とする。

注記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。

工 事 名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図 面 名	中央2-101-大宮3 コンクリート補修図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮 尺	図示	図面番号	2 / 7
路 線 名			
会 社 名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-287-大宮3-002 補修一般図



補修項目

補修工種	適用箇所
断面修復工(添え筋・舗装はつり)	床版
表面保護工	床版
水切り設置工	床版

橋梁諸元

橋	長	2.50 m
幅	員	7.90 m
荷	重	不明
上部工形式	RC単純床版橋	
下部工形式	重力式橋台*2	
架橋年月	不明	
適用示方書	不明	
補強補修履歴	不明	

※橋梁諸元、断面寸法等は、既存資料、現地調査等による。

工事名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図面名	中央2-287-大宮3-002 補修一般図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮尺	図示	図面番号	3 / 7
路線名			
会社名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-287-大宮3-002 コンクリート補修図

桁 下

S=1:30

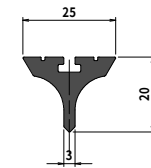
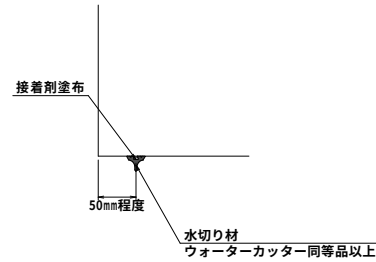
水切材設置図 S=1:5

S=1:5

水切材詳細図 S=1:1

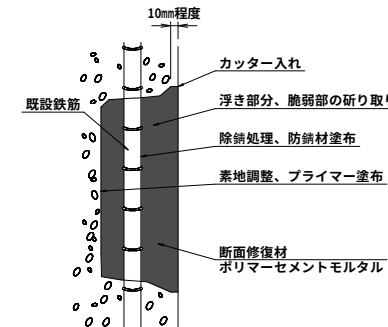
S=1:1

ウォーターカッター同等品以上
(EPDMゴムスポンジ)



断面修復工(参考)

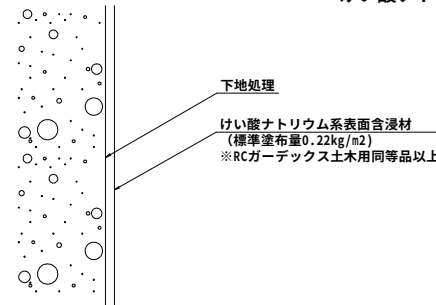
左官工法



- 補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
- 断面修復は、脆弱部などをたき落して上へで実施すること。
- 断面修復の際は、鉄筋に防錆処理を施すこと。(鉄筋が露出している場合)
- はつり深さが大きく50mm程度以上の厚さとなる場合には、多層塗りとすることを基本とする。
- かぶり厚が十分確保できない場合は、補修材を盛ること。
- 断面修復箇所及び数値は、現地で確認すること。
- 補修箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
- 付着強度1.5N/mm2以上

表面含侵工詳細図（参考）

けい酸ナトリウム系



土学会「けい酸塩系表面含浸材の試験方法(案) JSCE-K572」に基づくRCゲータックス土木の性能評価

透水比	77%
吸水比	86%
中性化深さ比	80%
塩化物イオン浸透深さ比	50%
ひび割れ透水比	1%
質量損失比	31%
水の浸透深さ比	58%

断面修復工数量一覧表

部 材	NO.	幅 (m)	長さ(m)	個数	面積(m2)	厚さ (m)
床版	1	0.100	0.100	1	0.010	0.050
	2	0.100	0.150	1	0.015	0.050
	3	0.300	0.400	1	0.120	0.050
	4	0.300	0.100	1	0.030	0.050
	5	0.200	0.200	2	0.080	0.050
	6	0.800	0.700	1	0.560	0.200
	7	0.800	0.800	1	0.640	0.050
	8	0.100	0.300	1	0.030	0.050
	9	0.300	0.700	1	0.210	0.050
	10	0.500	0.400	1	0.200	0.050
	11	0.200	0.500	1	0.100	0.050
	12	0.500	0.500	1	0.250	0.050
	13	0.300	1.900	1	0.570	0.050
	14	0.300	0.300	1	0.570	0.100
			小計		2.905	
		合計		2.905		

鉄筋質量表

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D16	840	4	1.56	1.31	5	——
S 2	D13	1500	4	0.995	1.49	6	
11							
合 計		D16		5 kg			
		D13		6 kg			
総質量				11 kg			

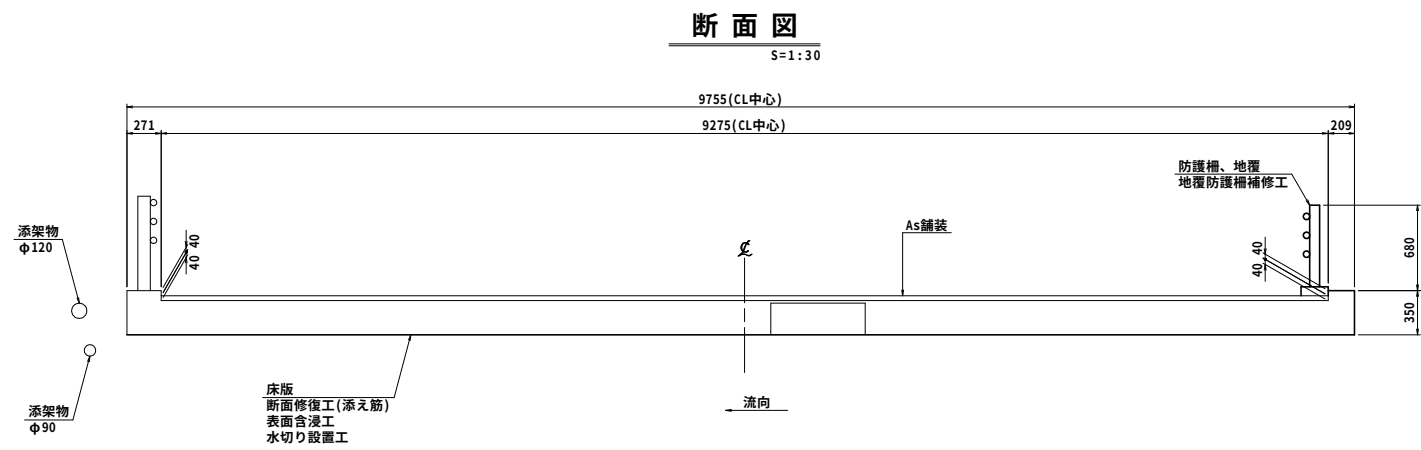
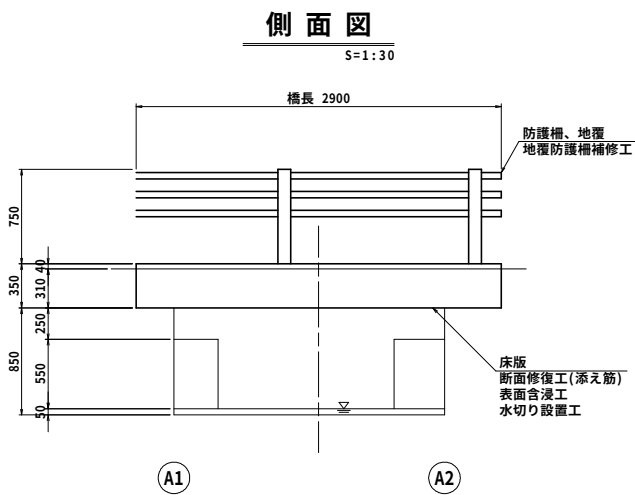
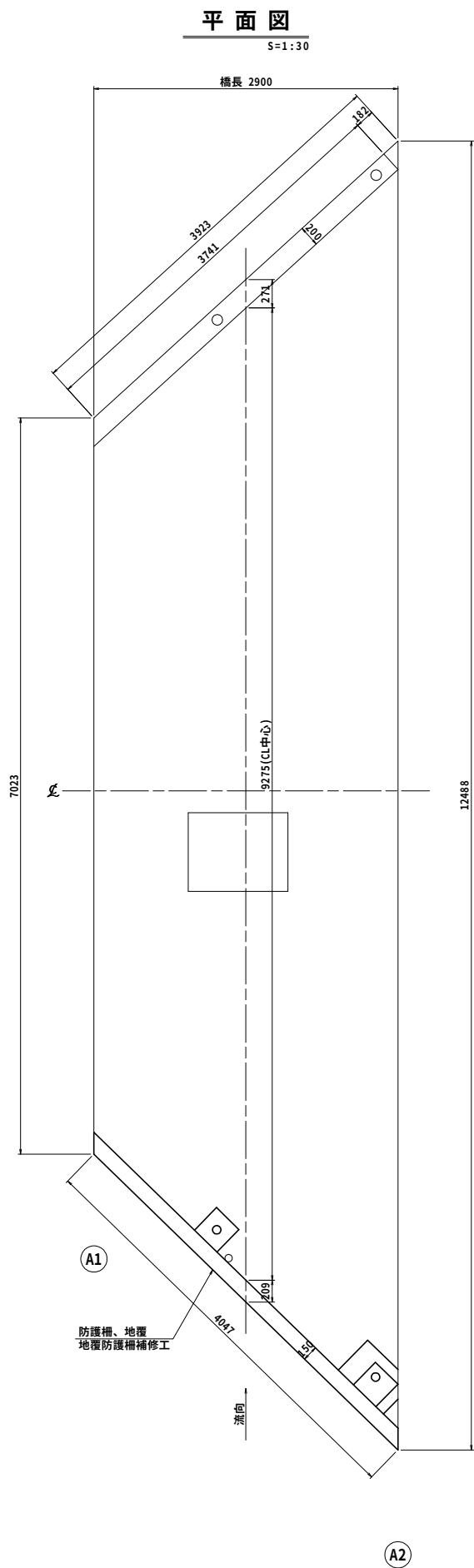
※特記なき鉄筋は全てSD345とする。

注記)

1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
2. 原則として桁下から断面修復を行うものとするが、施工が困難と判断された場合は監督職員との協議の上、橋面からの施工を検討すること。

工 事 名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図 面 名	中央2-大宮3-002 ｺﾝｸﾚｰﾄ補修図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮 尺	図示	図面番号	4 / 7
路 線 名			
会 社 名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-307-文京2 補修一般図



補修項目

補修工種	適用箇所
断面修復工(添え筋)	床版
表面保護工	床版
水切り設置工	床版
地覆防護柵補修工	防護柵、地覆

橋梁諸元

橋長	3.00 m
幅員	8.60 m
荷重	不明
上部工形式	RC単純床版橋
下部工形式	重力式橋台*2
架橋年月	不明
適用示方書	不明
補強補修履歴	不明

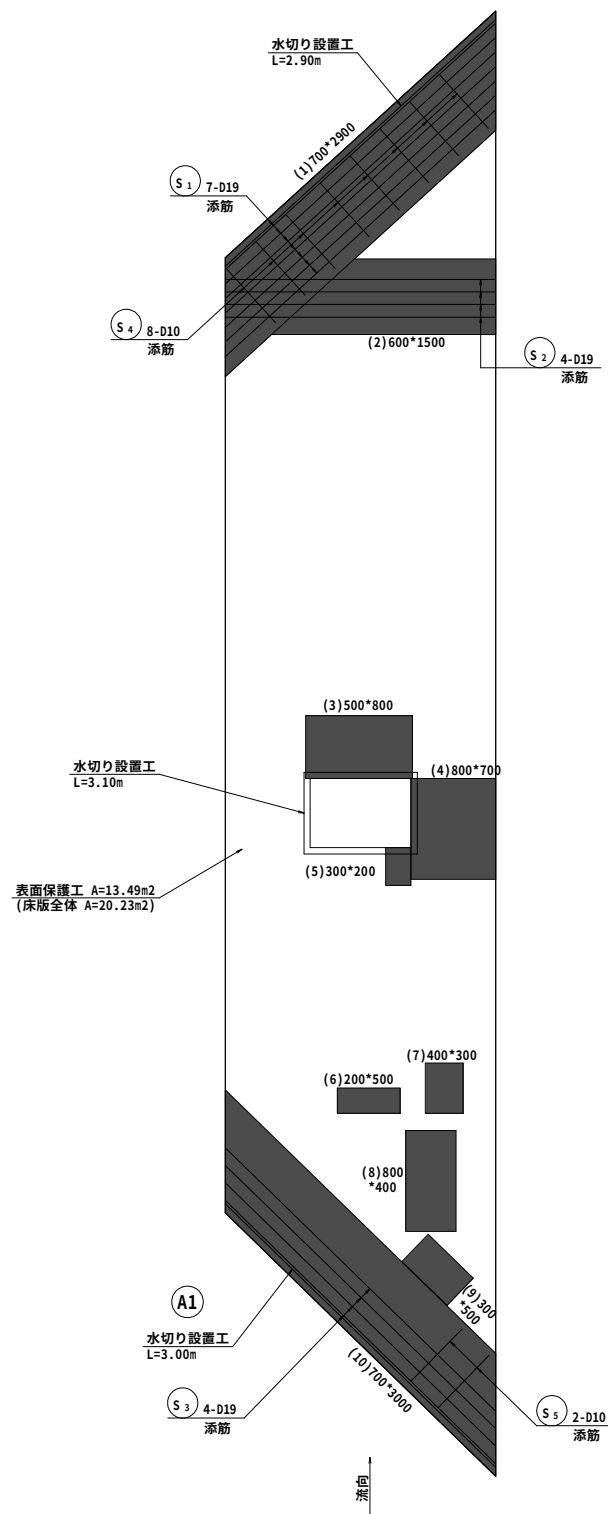
※橋梁諸元、断面寸法等は、既存資料、現地調査等による。

工事名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図面名	中央2-307-文京2 補修一般図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮尺	図示	図面番号	5 / 7
路線名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
会社名			
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-307-文京2 コンクリート補修図

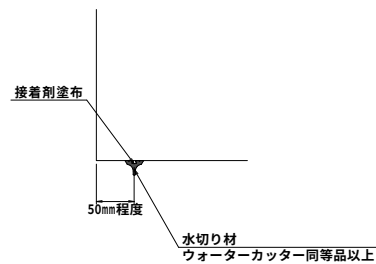
桁 下

S=1:30



水切材設置図 S=1:5

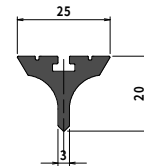
S=1:5



水切材詳細図 S=1:1

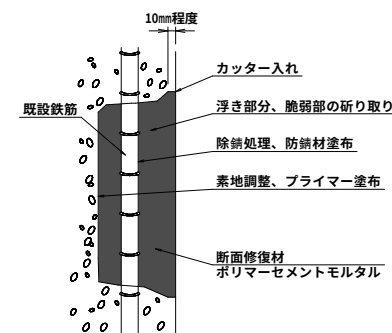
S=1:1

ウォーターカッター同等品以上
(EPDMゴムスポンジ)



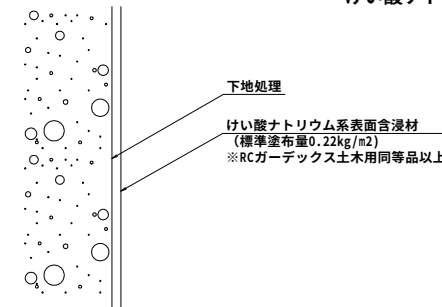
断面修復工(参考)

左官工法



- 注記
- 断面範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
- 断面修復は、脆弱部または大落としたと上と実施工すること。
- 断面修復の際は、鉄筋に防食処理を施すこと。(鉄筋が露出している場合)はつり深さが大きく50mm程度以上の厚度りとなる場合には、多層塗りとすることを基本とする。
- かぶり厚が十分確保できない場合は、修繕材を盛ること。
- 断面修復箇所及び数量は、現地に於て確認すること。
- 断面箇所の確認に際しては全面打音調査を行うこと。
- 付着強度 1.5N/mm2以上

表面含侵工詳細図（参考）



土壌学会「けい酸塩基系表面含浸材の試験方法(案) JSCE-K572」
に基づくRCガードessus土木用の性能評価

透水比	77%
吸水比	86%
中性化深さ比	80%
塩化物イオン浸透深さ比	50%
ひび割れ透水比	1%
質量損失比	31%
水の浸透深さ比	58%

断面修復工数量一覽表

部 材	N0.	幅 (n)	長さ (n)	個数	面積(m2)	厚さ (n)
床版	1	0.700	2.900	1	2.030	0.050
	2	0.600	1.500	1	0.900	0.050
	3	0.500	0.800	1	0.400	0.050
	4	0.800	0.700	1	0.560	0.050
	5	0.300	0.200	1	0.060	0.050
	6	0.200	0.500	1	0.100	0.050
	7	0.400	0.300	1	0.120	0.050
	8	0.800	0.400	1	0.320	0.050
	9	0.300	0.500	1	0.150	0.050
	10	0.700	3.000	1	2.100	0.050
		小計			6.740	
	合計			6.740		

鉄筋質量表

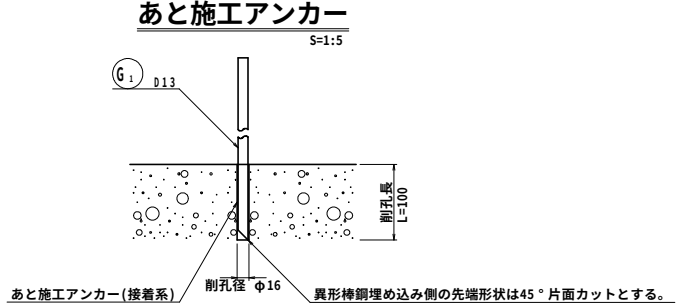
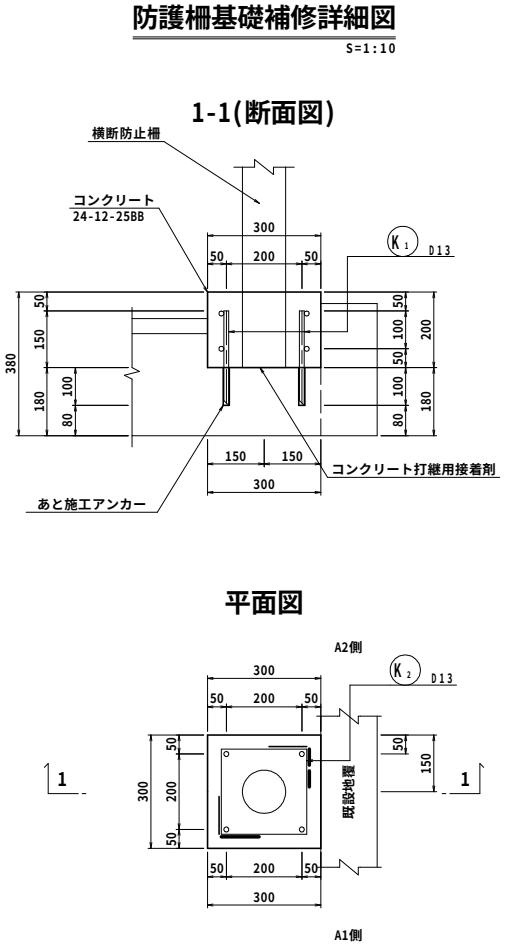
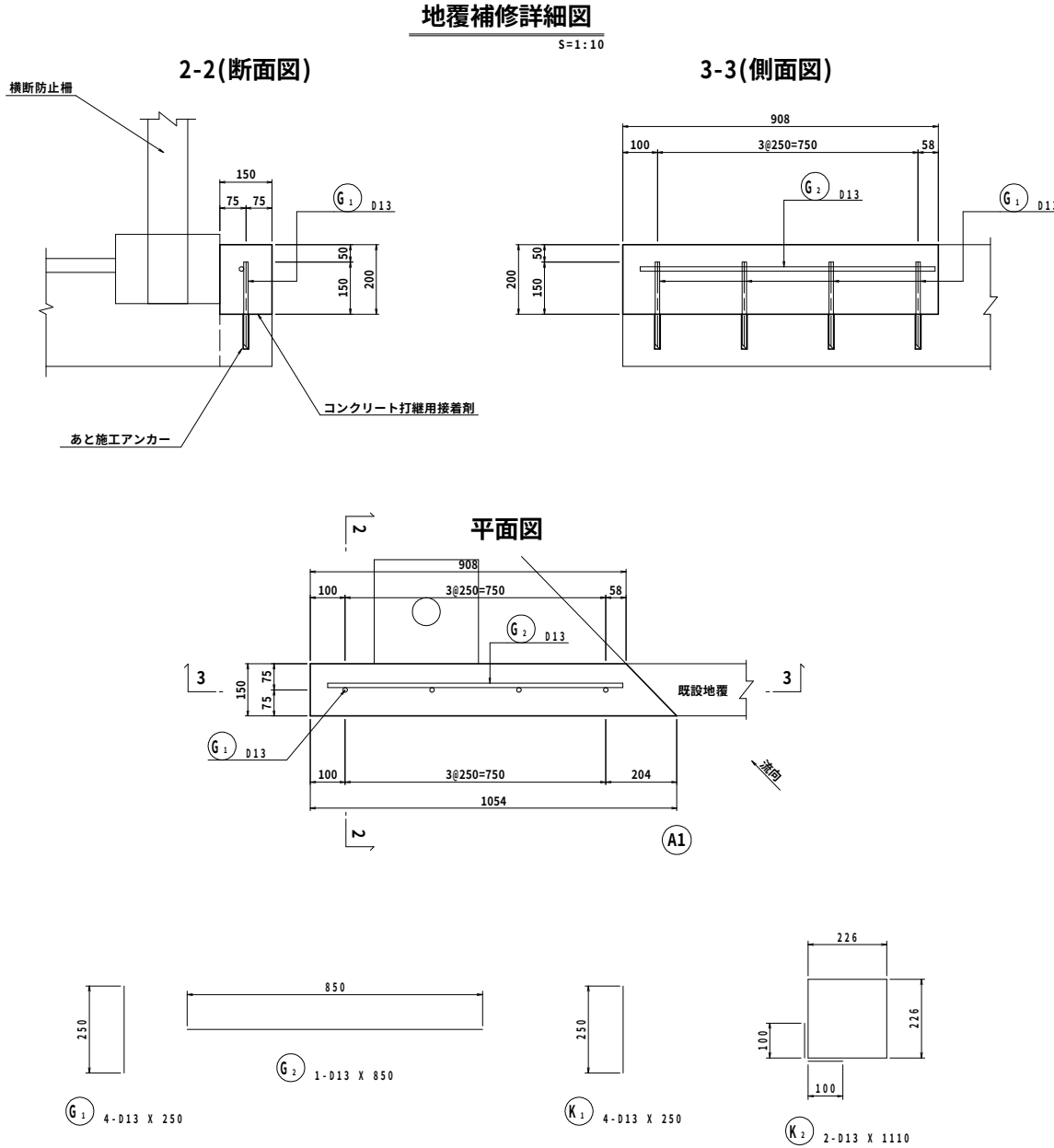
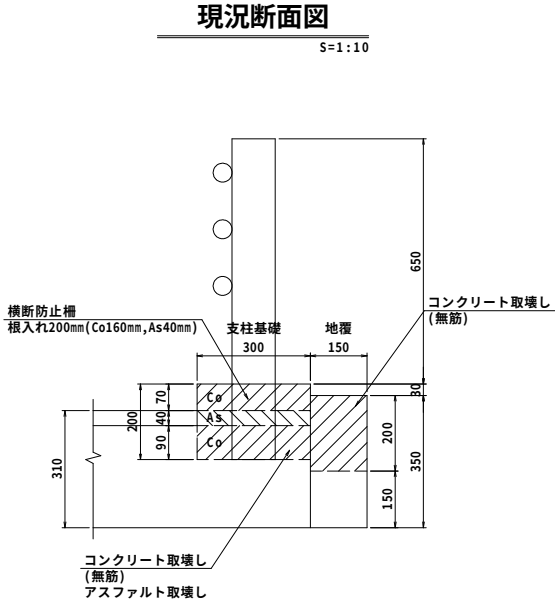
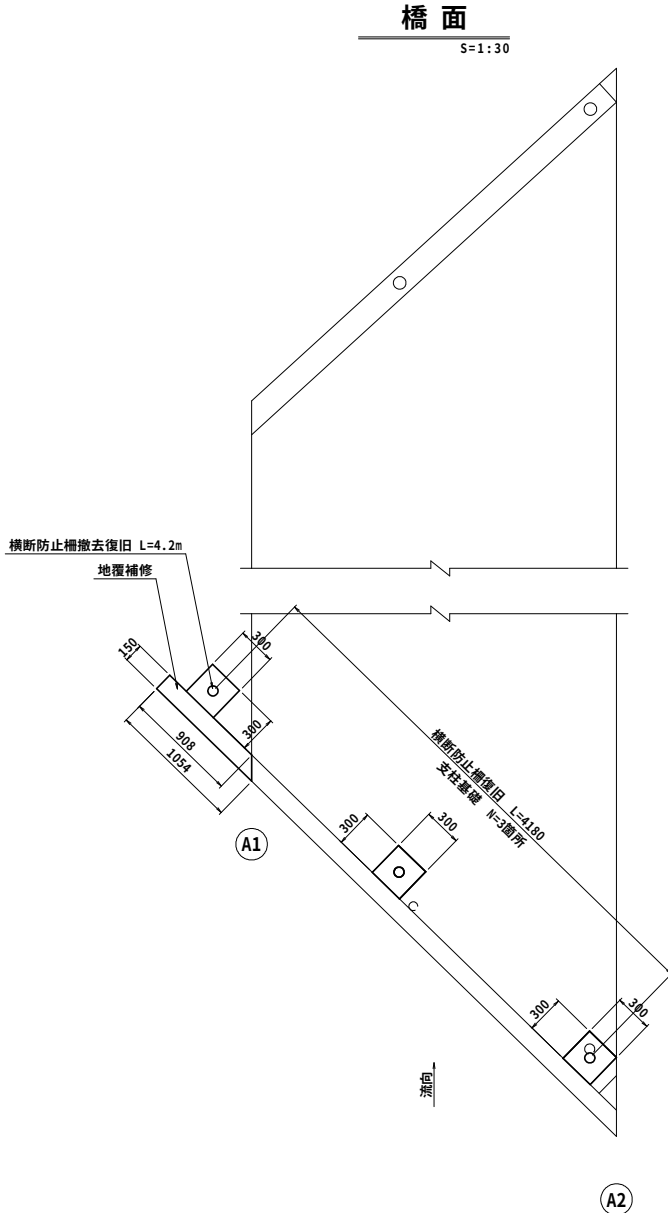
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2900	7	2.25	6.53	46	————
S 2	D19	2150	4	2.25	4.84	19	————
S 3	D19	3000	4	2.25	6.75	27	————
S 4	D10	580	8	0.56	0.32	3	———— SD29
S 5	D10	580	2	0.56	0.32	1	———— SD29
96							
合 計		D19		92 kg			
		D10		4 kg	SD295		
総質量				96 kg			

※特記なき鉄筋は全てSD345とする。

注記)
1.施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。

工 事 名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図 面 名	中央2-307-文京2 コンクリ補修図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮 尺	図示	図面番号	6 / 7
踏 線 名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
会 社 名			
事業者名	福井市建設部道路課		

中央2-307-文京2 地覆防護柵補修図



鉄筋質量表							
記 号	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一本当り質量	質 量	摘 要
地 覆							
G ₁	D13	250	4	0.995	0.249	1	
G ₂	D13	850	1	0.995	0.846	1	—
						2	
合 計 D13 2 kg							
総質量				2 kg			
支 柱 基 礎							
K ₁	D13	250	4	0.995	0.249	1	
K ₂	D13	1110	2	0.995	1.10	2	□
						3	1箇所当り
合 計 D13 3 kg							
総質量				3 kg 3*3箇所=9kg			

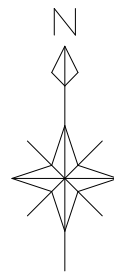
※ 鉄筋の材質は全てS45とす

注記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。

工 事 名	道保№2-2 橋梁補修工事		
工事場所	福井市 大宮3丁目、文京2丁目 地係		
図 面 名	中央2-307・文京2 地覆防護欄補修図		
施工年度	令和7年度	作成年月日	
縮 尺	図示	図面番号	7 / 7
路 線 名	市道 中央2-101、中央2-287号線外		
会 社 名			
事業者名	福井市建設部道路課		

位置図

S=1:5000



工事概要

中央2-101-大宮3
工事施工延長 L=2.59m(橋長L=2.59m、幅員W=9.20m)
断面修復工 N=1橋
表面保護工 V=13.0m²

中央2-287-大宮3-002
工事施工延長 L=2.50m(橋長L=2.50m、幅員W=7.90m)
断面修復工 V=1橋
表面保護工 V=10.0m²

中央2-307-文京2
工事施工延長 L=3.00m(橋長L=3.00m、幅員W=8.60m)
断面修復工 V=1橋
表面保護工 V=13.0m²
路側防護柵工 L= 4.2m